



ほっかい

水とふれあい通信

◇発行 者／岩見沢市6条西7丁目 北 海 土 地 改 良 区

TEL (0126) 22-2400 FAX (0126) 22-8012

URLアドレス <http://www.midorinet-hokkai.jp>

◇印 刷／弘文社印刷株式会社 岩見沢市5条東11丁目



『赤平市新住吉揚水機 サージタンク』

主 な 内 容

平成26年度第1回臨時総代会開催	2
平成25年度決算ほか	3 ~ 6
人事通信	7
JICA研修生受け入れ	8
第9回ウォーキング開催	9 ~ 10

改良区の現況
地区面積 33,300ha
組合員数 2,345人
平成26年4月対比 △29人
平成26年10月1日現在

第89号

平成26年度 第1回臨時総代会開催

平成26年度第一回臨時総代会が、8月22日岩見沢平安閣において総代96名(定数106名)の出席を得て開催され、議長に有限会社杉本農場代表取締役、杉本和親氏(美瑛市・第2区)、議事録記名人に笹木昭博氏(岩見沢市・第4区)、大川英樹氏(岩見沢市・第5区)を各々選出し、報告1件、議案17件について慎重審議の結果、原案通り承認決定されました。

開会の挨拶



北海土地改良区
理事長
尾田 則 幸

総代の皆様方にはこの時期農作業が大変お忙しい中、またそれぞれ多くの予定のある中ご出席頂きまして衷心より厚くお礼と感謝を申し上げます。また皆様方には改良区の運営にご支援、ご協力頂いている事にも感謝とお礼を申し上げます。

今年の春は雪解けも順調に進んで春先は移植作業も近年にない天候に恵まれ順調に終わる事が出来たのでありますが、この天候がしっかりと七月まで続いて逆に大きな水不足あるいは干ばつ天気といった様な事でかなり畑作物等に被害があるのではと心配をしているところがございます。ただ麦の刈り取りが終わりでしたが、一昨年または昨年の様な品質の低下、あるいは大きな収量の減といった様な事はないと伺っております。玉葱についてはかなり干ばつの影響があるのかと思われ、今まさしく収穫の真っ最中でありまして今後どの様な形に

なるかわかりませんが、かなり被害が出るのではと感じているところがあります。

ただ全道的には干ばつ傾向という事ではありますが、全国的に見ますと特に西日本等は、この夏連日に渡り集中豪雨あるいはゲリラ豪雨や台風、特に今年の台風は足が遅く大変な豪雨をもたらし、被害が出ています。今朝も早朝から広島での災害の状況が報道されておりますが本場に甚大な被害でありますし、多くの方が亡くなられ行方不明になっている様であります。そういった意味では被害者の皆様あるいは亡くなられた方には心からお見舞いとお悔やみを申し上げます次第であります。

そういった中で北海道は本場に水不足といった様な事で通水の期間はかなり厳しい状況であった訳であります。けれども組合員の皆様方のご理解を頂きながら節水等をしていただき何とか七月まで乗り切ってきたところでもあります。また八月になり台風の接近という事で雨もかなり降り一安心で今日の断水の時期を迎える事が出来た訳であります。そういった中で組合員の皆様方にご迷惑を掛けながら何とか乗り切ってきたという事でもあります。

近年非常に天候が偏った中で昨年もあり水については不足傾向で節水をして頂いた部分もあり、今後気象の変化が益々大きくなっていくのかと、そんな事を思いながら何とか順次断水を迎えて頂いているところでもあります。大きな事故もなく断水が出来そうでありまして、組合員の皆様あるいは関係者の皆様に改めて心から感謝とお礼を申し上げますところでもあります。

さて、NN事業の圃場整備の件であります。近年本場に北海道の気候が不順といった中で圃場整備事業農家も業者も大変苦労しているのが現実でありました。全道挙げて何とか夏期施工、通年施工での実施が出来ないかという事で24年度から25年度にかけて全道挙げて強力な要請活動を行ない、今年度26年度から農地集積促進費の活用をもつて通年施工が出来るといった事になりました。私共改良区の道営事業をはじめ園営を含めてかなりこういった促進費を活用して頂いて夏期施工を取り組んで頂いた訳です。結果を見ますと特に今年には出来あがった圃場が素晴らしい効果のある圃場になったと感じております。今後もしっかりとまた促進費を活

用頂いて出来高の良い素晴らしい圃場が出来る様よろしくお願いを致したいと思っております。

また農業農村整備事業について平成22年度に大きく削減された訳であります。そういった意味では平成24年度に政権交代があり何とか国政を含めて平成21年度並みの予算が確保出来るようになって来ています。いわゆる圃場整備事業含めて北海道は冬の気候によって農業水利施設、あるいは灌漑設備そういった物の老朽化が進み傷んでいるという事もあります。そういった部分の改修整備に向けてしっかりと予算確保をしていかねばならないと、そういった意味では計画的に実施できる様な補正に頼らないで当初予算でしっかりと確保出来る様に全道の皆さんと共に強力に要請活動を行って予算確保に向けて頑張りたいと思っております。

また最近テレビ報道等で皆さんもご存知の通り北海道電力の値上げの申請であります。これは昨年もかなり値上げをしたという事でありまして、今年はずっと大幅な値上げの申請がされているという事で、東日本大震災等色々な要素があつて大変なんだろうとは思いますが、これ程の上げ幅という事になります。私共改良区に關しても多くの電気を使用する訳であります。今後大きな影響が出てくるだろうと思っております。ただ私共も平成23年度から平成27年度に向けて第4次中期計画の実施中でありまして。その中で消費税についてはこの期間の間に5%から10%に上がるだろうという事も想定して運営しております。電力についても多少は上がつて来るだろうと想定して対応している訳ですが、これだけ大幅な値上げ申請という事でありますので今後どういった方向で決着していくのか、値上げ幅がどうなっていくのか、あるいはこれは長期的な物になるのか一時的なものなのかまだまだこの方向が続かないと出てこない訳ではあります。少なくとも値上げされることは確実なんだろうと思っております。今後改良区の運営に大きな課題として取り上げざるを得ないのかと感じているところでもあります。ですので組合員共々しっかりと皆様方の付託に出来る様に私共もしっかりと運営して参りたいと思っております。改めてご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

皆様方の慎重審議よろしくお願ひ申し上げまして会議の冒頭にあつての挨拶に代えさせていただきます。

平成25年度 一般会計決算書報告

収入決算総額 4,287,806,677 円

支出決算総額 4,128,930,788 円

差引残高 158,875,889 円 (翌年度へ繰越)

翌年度繰越金 内訳

一般繰越額 145,912,472円

決済金等繰越額 12,963,417円

収 入

(単位：円)

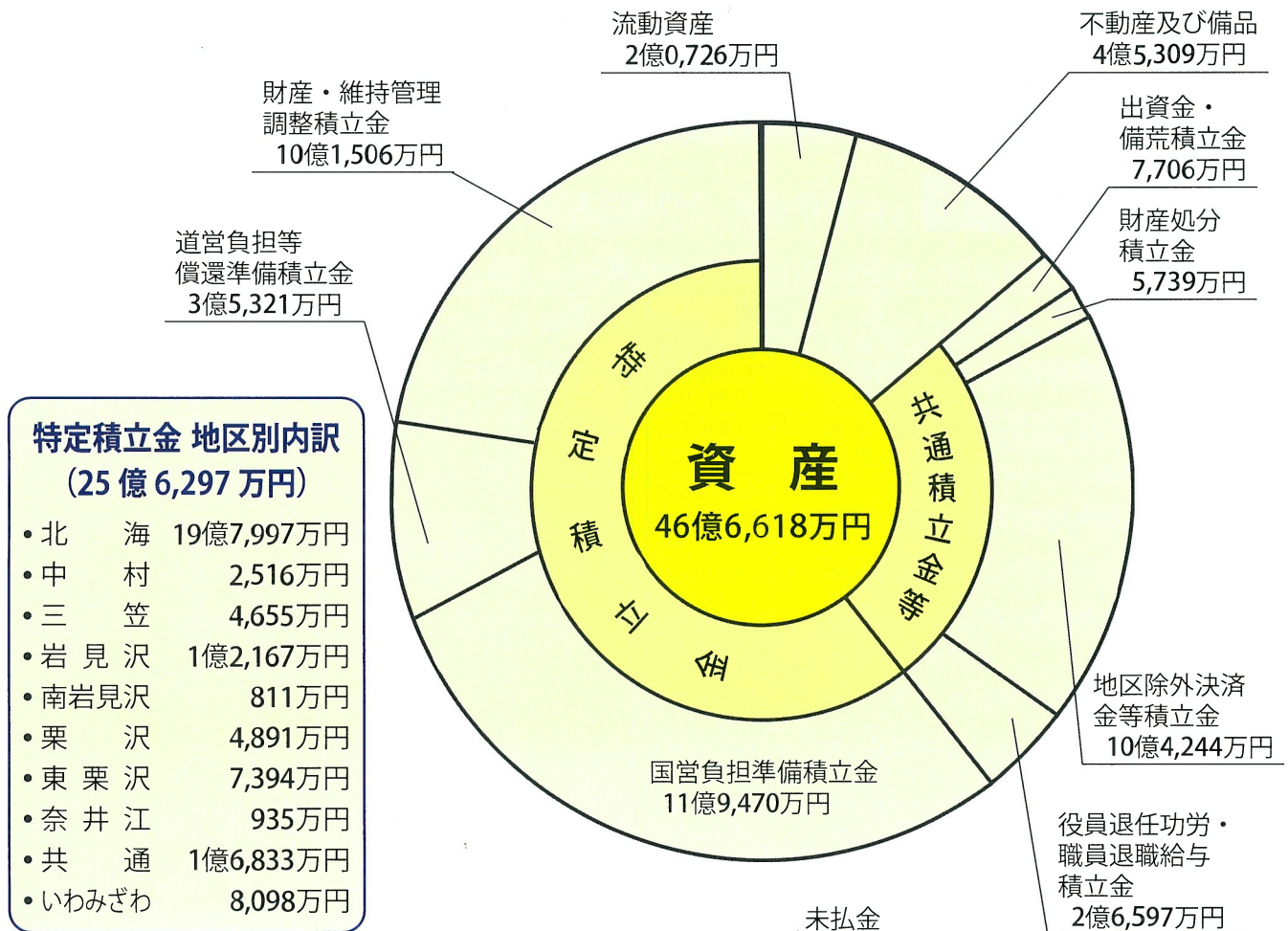
支 出

(単位：円)

款	決 算 額	説 明
賦 課 金	2,039,372,424	経 常 賦 課 金 1,220,835,088 特 別 賦 課 金 797,589,398 事 業 賦 課 金 20,947,938
使 用 料	11,799,187	契 約 使 用 料 3,856,186 許 可 使 用 料 7,943,001
補 助 金 及び助成金	624,167,298	補 助 金 49,704,634 市町村等助成金 402,103,664 交 付 金 172,359,000
財産収入	8,636,730	預 金 利 子 6,039,684 配 当 金 183,513 財産貸付収入 1,934,980 財産売却収入 478,553
受託及び 補 償 金	77,938,346	受 託 金 77,938,346
繰 入 金	387,997,083	基本財産繰入金 84,590,586 積立金繰入金 303,406,497
借 入 金	836,098,000	農林漁業資金借入金 778,002,000 長 期 借 入 金 58,096,000
諸 収 入	151,501,103	預 金 利 子 97,435 過 剰 金 15,502 過 年 度 収 入 2,336,808 雑 入 7,576,393 加 入 金 269,240 繰 上 償 還 金 122,285,287 決 済 金 18,920,438
換 地 費	0	—
繰 越 金	150,296,506	前年度繰越金 150,296,506
収入合計	4,287,806,677	

款	決 算 額	説 明
一 般 費 管 理 費	642,678,830	報 酬 36,751,564 給 料 151,611,704 職 員 手 当 124,343,647 退 任 給 与 金 24,370,000 退 職 給 与 金 4,264,560 賃 金 35,803,087 法 定 福 利 費 79,204,661 費 用 弁 償 6,290,736 旅 費 7,659,308 交 際 費 531,950 需 用 費 38,265,039 使用料及び賃借料 3,129,265 備 品 購 入 費 6,267,580 備 品 管 理 費 10,693,198 営 繕 費 98,905,295 手 数 料 11,295,949 会 議 費 3,291,287
営 造 物 管 理 費	875,385,564	頭 首 工 維 持 費 14,114,540 貯 水 池 維 持 費 15,739,680 溝 路 維 持 費 109,805,414 揚 水 機 維 持 費 392,153,968 下 部 交 付 金・助 成 金 55,772,477 維持管理適正化事業費 120,870,750 施設改善対策事業費 74,655,000 拠 出 金 63,038,380 管 理 諸 費 29,235,355
土地改良 事 業 費	166,364,088	団 体 営 事 業 費 88,425,150 受 託 事 業 費 77,938,938
諸税及び 負 担 金	787,052,688	諸 税 3,945,500 道 営 分 担 金 776,244,776 その他事業負担金 6,862,412
繰 出 金	363,956,479	備 荒 積 立 1,258,778 財 産 処 分 積 立 2,514,522 地区除外決済金等積立 144,267,422 役 員 退 任 功 勞 積 立 1,891,735 退 職 給 与 積 立 59,274,383 国 営 負 担 積 立 6,028,839 道 営 負 担 等 積 立 137,854,675 財 産・維持管理調整積立 10,866,125
償 還 金	1,226,909,906	農林漁業資金償還金 360,004,771 長 期 借 入 金 償 還 金 618,382,860 繰 上 償 還 金 248,522,275
諸支出金	66,583,233	財 産 取 得 費 1,000 厚 生 管 理 費 1,847,772 一 時 借 入 金 利 子 274,794 事 業 推 進 費 750,020 団 体 負 担 金 3,833,004 諸 費 59,876,643
換 地 費	0	—
予 備 費	0	—
支出合計	4,128,930,788	

平成25年度 財産状況 (平成26年5月31日現在)



市町村持分
1億5,950万円

引当金
41億4,132万円

改良区持分
50億7,480万円

受益者持分
26億3,482万円

負債
120億4,333万円

監 査 報 告 書

平成 25 年度決算監査を執行したので、次の通り報告いたします。

記

1. 監査をした年月日 平成 26 年 7 月 1, 2, 3, 4 日 4 日間
2. 対象とした年月日 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日
3. 監 査 の 結 果

1) 業務に関する事項

イ. 運営に関する状況

定款及び諸規定の整備状況、又（総代会、理事会、各委員会）の開催においても適切に運営をされておりその他の事項についても良好だと認めます。

ロ. 事業に関する状況

各事業が当初計画通り施行をされておりさらに施設の維持管理も適正であると思われます。又工事に伴う入札、請負契約等事務的手続き、関係書類の整備も良好と認めます。

2) 財務に関する事項

イ. 会計に関する状況

予算に対して順調に運営をされており、賦課徴収も役職員の努力の結果が見受けられます。又借入金等の使途、償還等も適正に行われていると認めます。

ロ. 経理に関する状況

金銭出納、残高の一致状況等経理全般に涉って適正に行われており良好と思われます。又財産台帳の整備、各金融機関の通帳等の管理も適正と確認をいたしました。

以上全般を通して良好と認めます。

平成 26 年 7 月 4 日

北海土地改良区 総括監事 白 倉 敏 美 ㊟

筆頭監事 村 上 敏 文 ㊟

監 事 前 谷 篤 ㊟

監 事 林 孝 友 ㊟

監 事 中 西 洋 一 ㊟

平成26年度 第1回 補正予算の概要

一般会計 262,000 千円 追加補正

平成 26 年 8 月 22 日開催の第 1 回臨時総代会において、**平成 25 年度決算からの繰越金、負担金等**を主たる要因として、262,000 千円を追加し、総額 4,253,000 千円とする第 1 回補正予算を可決した。

平成 26 年度 一般会計 第 1 回 補正予算表

収 入

(単位：千円)

科 目	補正前の額	補 正 額	計	説 明
賦 課 金	2,048,075	62,847	2,110,922	経常賦課金 62,819 事業賦課金 28
使 用 料	11,725	0	11,725	
補助金及び助成金	531,079	76,788	607,867	補助金 76,788
財 産 収 入	7,728	842	8,570	財産売却収入 842
受託及び補償金	48,501	24,421	72,922	受託金 500 補償金 23,921
繰 入 金	225,272	10,177	235,449	積立金繰入金 10,177
借 入 金	751,068	3,135	754,203	農林漁業資金借入金 3,260 長期借入金 △ 125
諸 収 入	287,550	4,914	292,464	雑入 4,816 加入金 35 決済金 63
換 地 費	2	0	2	
繰 越 金	80,000	78,876	158,876	前年度繰越金 78,876
収 入 合 計	3,991,000	262,000	4,253,000	

支 出

(単位：千円)

科 目	補正前の額	補 正 額	計	説 明
一 般 管 理 費	629,139	2,125	631,264	退任給与金 50 営繕費 2,075
営 造 物 管 理 費	935,923	7,345	943,268	溝路維持費 3,456 助成金 3,389 管理諸費 500
土地改良事業費	84,001	164,040	248,041	団体営事業費 139,619 補償工事費 23,921 受託事業費 500
諸税及び負担金	732,318	7,055	739,373	道営分担金 7,017 その他事業負担金 38
繰 出 金	272,987	78,849	351,836	財産処分積立繰出金 326 地区除外決済金等積立繰出金 65,254 退職給与積立繰出金 10,000 国営負担積立繰出金 2,098 道営負担等積立繰出金 1,171
償 還 金	1,294,186	1,097	1,295,283	転用繰上償還金 1,097
諸 支 出 金	34,444	1,655	36,099	返還金 516 雑出 1,139
換 地 費	2	0	2	
予 備 費	8,000	△ 166	7,834	予備費 △ 166
支 出 合 計	3,991,000	262,000	4,253,000	

人事通信

職員人事

十月一日付発令

▼総務部 総務課 主事

林 口 悠 太

(総務部 総務課 主事補)

▼技術部 砂川事業所 技師

矢 萩 徹 世

(技術部 砂川事業所 技師補)

▼技術部 南幌事業所 技師

清 水 俊 秀

(技術部 南幌事業所 技師補)

どうぞよろしくお願い致します。



おくやみ

当区関係者において、左記の方々がご逝去されました。

ここに、生前中当区業務運営にご尽力賜りました事に深く感謝申し上げ謹んでご冥福をお祈り致します。

◎元 役 員

高 嶋 哲 夫 氏 (三笠市)

岩見沢第3分水區

岩見沢第2支線組合長

(平成17年～平成23年)
平成26年7月17日 逝去

◎総 代

田 中 秀 世 氏 (岩見沢市)

岩見沢第2分水區

平成26年7月2日 逝去

◎組 合 員

板 坂 光 正 氏 (奈井江町)

砂川第2分水區

平成26年8月10日 逝去

廣 瀬 弘 氏 (南幌町)

南幌第2分水區

平成26年9月17日 逝去

面積が変わったらすぐ手続き

農地が減ったり増えたりした時や、耕作者が変わった時はすぐ土地改良区に届出(名義及び地目変更又は地区除外の手続き)をして下さい。

※ 賦課金を滞納した土地の取得にはご注意を！

滞納している土地を購入すると、取得された方がその土地の滞納金を支払うことになります。(土地改良法42条：権利義務の承認) 権利義務の承認とは、土地に有した事業に関する権利(水使用)と義務(賦課金納入)を引き継ぐことです。従って、購入する際に土地代を決める場合は事前に当改良区に滞納の有無を必ず確認して下さい。

届出がない場合は、そのまま賦課されますので、農業委員会、農業協同組合に手続きを行った際は、必ず土地改良区にも届出をお願い致します。

尚、いずれも農業委員会の書面、分筆図等の書類と印鑑を持参の上、届出をして下さい。

(変更の手続きは、賦課調整課、各事業所へ)

JICA(独立行政法人国際協力機構)

地域別研修「アジア地域農民主体型用水管理システム ベトナム」研修生の受入

当区では、昨年に引き続き、JICA研修生（ベトナム）8名を6月16日から7月28日迄受け入れ、担当職員が土地改良区の組織運営・管理組合の役割・維持管理方法等を説明し、北海頭首工をはじめとする水利施設の現地視察、北大やJA等での講義、岩見沢市への表敬訪問のほか、道外（滋賀県、兵庫県）の土地改良区視察（日野川流域土地改良区、加古川西武土地改良区）や近畿農政局、加古川水系広域水利施設総合管理所訪問も行いました。

8名の研修生はそれぞれ自国で農業用水路を管理する公的機関に勤められている方々で、今回の研修では日本の土地改良区で行われている農民主体型用水維持管理システムを学びました。1ヵ月半におよぶ長期研修で研修生達が学んだ知識や技術を自国の農業用水管理の発展に資する事を願っています。最後に今回の研修生受入にご協力いただいた関係機関の皆様にお礼を申し上げます。



岩見沢市への表敬訪問



用水管理に係る問題分析の様子



施設見学の様子



研修終了式後の記念写真

第9回 北海幹線用水路ウォーキング

今年は271名が参加

第9回目北海幹線用水路ウォーキングが今年も美唄市光珠内町の光珠内調整池管理棟を会場に開催されました。事前申し込みは300名程ありましたが、当日が悪天候のため今年は10kmコース79名、7kmコース79名、3kmコース113名、合わせて271名でした。ウォーキング中だけは雨が降らず、1歳の子供から83歳迄全員完歩しました。



スタート前の会場風景



10km コースのスタート



7km コースのスタート



3km コースのスタート



防風林内を歩く参加者



パネルを見る参加者

主催：北海土地改良区

共催：岩見沢農業事務所・空知森林管理署・空知総合振興局
後援：美唄市・J Aみねのぶ・疏水ほっかい愛護連絡協議会

施設見学会

平成26年度のソフト活動

H26.7.19



砂川小学校3年生 49名



美唄郷土史研究会 10名



栗沢小学校5年生 50名



岩見沢東小学校4年生 55名

田んぼの活動 (稲刈り体験学習)

北村小学校では3～6年生が平成14年度より、豊里小学校では5年生が平成23年度より毎年継続して田植え、稲刈り、脱穀、収穫など食味までを体験しています。

それぞれ地元の人たちの協力と関係機関のご支援をいただき実施しています。



岩見沢市北村小学校



赤平市豊里小学校